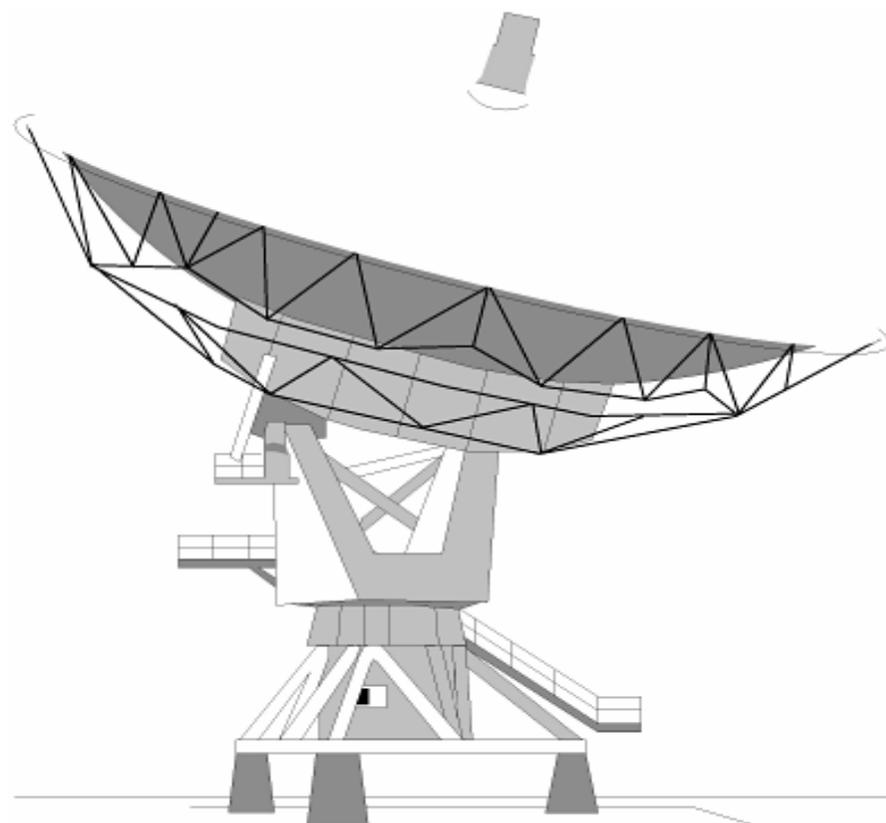


三二情報

Mainichi Media



Speedy 迅速に

Correctly 正確に

Politely 丁寧に

No. 2 2 9

2005年(平成17年)9月号



株式会社

毎日メディアサービス

<http://www.m-media.co.jp>

福岡本部 〒812-0004 福岡市博多区榎田1-7-17
Tel (代) 092-471-1122 Fax 092-474-6466

北九州本部 〒800-0251 北九州市小倉南区葛原5-3-3
Tel (代) 093-475-0300 Fax 093-475-4750



大家から鉄砲玉が十五くる

江戸川柳

暑い夏が過ぎて月見の季となる。秋の大事な行事である。八月十五日の中秋の名月、「十五夜」九月十三日の十三夜、「後の月見」には十五個の団子を供えて秋の夜を楽しんだ。日頃は何かとケチな長屋の大家も十五夜には店子たちに月見団子を配ってくる。が、その団子いやに小粒、数は十五個あるもののまるで鉄砲玉のように小さいのをなじっている。

十三夜は豆名月、栗名月ともいい、衣かつぎ、栗、枝豆、すすきを供えた。

生きずの一日たへぬすすき売り

江戸川柳

そのすすき売りがやって来た。原野でそれを刈るときや、売るときに葉っぱで手を切るから生傷の絶えぬつらい仕事だが、「すすき売り女郎花など一本まけ」る商売上手でもある。



人を観察するには三段階の方式がある。第一はその人の為すところ、実際の行動によって判断する。第二はその行動の動機を見る。第三は結果にこの満足度を見る。
考えてみればごまかしたり、見栄を張ったりする人は本来実力が無いのである。実力が無いからこそ、姑息な手段でその場をしのごき、自分を実力ある者のふりをする。肝心の実力を養うことを忘れてしまっている。

論語 為政篇

人を知るに三すべし 一は言、二は行、三は果す

データ 1~3頁

- * 7月全国百貨店売上高2ヵ月連続増 スーパー苦戦
- 九州百貨店2ヵ月連続で前年上回る
- * 8月新車販売ガソリン高で小型車快走 全体では1.5%減
- * 04年ビール生産 世界で東京ドーム125杯分 中国が1位 日本は7位

九州・山口 4~8頁

- * 個人消費に明るさ クールビズ効果 九州・山口 夏の総決算
- * 地域密着の実験店へ改装 中津マルシヨク
- * 高級車「レクサス」専用店舗オープン トヨタ
- * 欧米の街並み 井筒屋が店舗構想 岩田屋エルメス復活
- * 熊本のSC10月開業 敷地22万平方メートル ダイヤモンドシティ

住まいの情報 9頁

- * 「介護予防」意識したベッド パラマウントベッド

カー情報 10~12頁

- * 高級輸入車と競争へ ソアラなど全面刷新 トヨタレクサス
- * 事故防ぐ「つり目」の顔 安全研究バイク発表 ホンダ
- * 4.5リットル「フーガ」発売 レクサスに対抗 日産

外食産業 13~16頁

- * ポンカレーの顔 37年ぶり交代 大塚食品
- * 牛肉「食べるの減った」4割 BSE不安根強く 農水省
- * スープカレー人気広がる 北海道発チェーン続々
- * 1本2千万円のウイスキー 19世紀醸造 英サイト売り出し

人ひと 17頁

- * 若者中心に出店希望者相次ぐ 古民家で活気 熊本
- サンワ工務店 社長 山野 潤一氏

売れ筋 18~19頁

- * 人気商品・新製品



話題 20~24頁

- * ダイエー鮮度アップ宣言
- * HowTo商い 心からのほほ笑み 技術に勝る自然な感情
- * クールビズ着てほしい男性1位は みのもんた
- * 留守番できるロボット 16日に発売 三菱重
- * 癒やしのアロマイかが スプレーを共同開発 福商若手会員

ネットビジネス 25頁

- * ネットで営業マン教育 販売代理店を支援

ユニークな店舗訪問 26頁

- * 昼夜で業態使い分け 庵治庵 東京

データ 27頁

- * 全国主要スーパー7月販売実績 前年比2.3%減 「定昇のみ」今春53% 定昇廃止・見直しを 経団連

ホームページ 28頁

- * 東アジア中世海道 ご案内 他



平成 17 年 9 月 17 日(土) ~ 11 月 27 日(日)

休館日: 月曜日 開館時間: 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

一般 1,000 (800) 円 学生 800 (600) 円

()内は前売りおよび 20 名以上の団体料金です。

70 歳以上と 18 歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、盲学校、聾学校、養護学校に在学する生徒は無料です。

主催: 山口県立萩美術館・浦上記念館、国立歴史民俗博物館、毎日新聞社、TYS テレビ山口

東アジアの海は、古くより地域と地域を結び付け、人、もの、文化、技術などの相互交流の場として歴史の揺籃となり、時代変革の原動力となっていました。本企画展示では、12 世紀から 16 世紀の東アジアの海を舞台に、中国、高麗・朝鮮、日本、琉球などの国・地域や人々が、影響を与えながら育んだ、交流の歴史と文化の煌きを、考古資料、文書、絵画、民俗資料など計約 600 件を通じて描き出します。



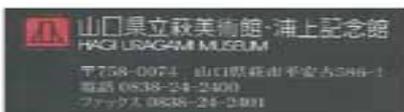
古地図などから当時の人々の世界観や自己意識を探ります。東アジアの国々や地域が、自らの世界をどう意識したのか、一方、外の世界からはどうみられたのか、地図にはそれが表現されています。中東アジアの海へと、観覧者を誘います。

中国における宋の建国(960年)に前後して、東アジアでは大航海時代とも言えるべき新たな交流の時代が到来しました。国と国が結びつくだけでなく、国家を意識せずに海を共通の世界とした海商たちの活動を通じて盛んになった交流の姿を、最新の研究成果を踏まえて紹介します。



アジアの内外で人、もの、情報が行き来した交易・交流の求心力を、経済的側面と文化的側面からみていきます。

東西貿易の原動力の一つは、決済に必要な銀でした。ヨーロッパの地図にまで記入されるほどの生産量を誇った石見銀山の銀こそが、日本に向かって多くの貿易船を引き寄せたことを展観します。また、中国銭が共通して流通したことなど、銭を通じて見える東アジアを描き出します。



観覧ご希望の方、先着 50 名様にご招待券を差し上げます。毎日メディアサービスまでお電話下さい。

「しし」は、鹿や猪などの獣の総稱。古来、肉食を禁忌とした日本社会では、鹿や猪の肉を食べることはタブーだったが、なかには身体に精をつけるため、あるいは冬の寒さをしのぐため、ひそかに食べる者もいた。この言葉、そんな獣肉を食べる人への揶揄をこめて、よい思いをしたからには、悪い報いもあるという意に使われる。ししを食って報いがあるなど迷信だが、迷信や禁忌は、人々にその時代の規範や倫理を守らせる上で、一定の役割を果たしてもいた。

谷沢永一「教養が試される34語 幻冬舎より」

しし食ったむくい 食べる、どうなる?

会話が弾んで楽しくなりますよ

日頃、極く自然に話す言葉、その通常の表現が、どんな歴史的由来に基づき、どんな意味を含んでいるか、身近な言葉や言い廻しの、素性や使い方の勘所を少し……。

消費者の声 新聞読者投書より

「若い職人さん一家の姿に感動」

我が家の近くでアパートの建設が進んでいるが、外壁工事の若い職人さん一家の健闘ぶりに感動している。奥さんもご主人の指示通り、塗料や部品・器具など手際よく手渡し、ご主人は軽い手付きで仕上げている。いつも午後4時ごろになると小学生の兄弟が手伝いにやってくる。

兄弟は危なくない場所で黙々と道具の後片づけ、木片・ビニールごみ・石ころなどを集めてほうきで掃き、時には打ち水までしている。兄は弟をかばいながら、2人でみるみるうちに道路まできれいにしてしまう。年末の初雪の降る夕方、吹き込む木枯らしにもめげず、雪の中で職人さん一家は頑張っていた。

向かいの公園では子供たちがにぎやかに遊んでいるのを気にもせず頑張っている。子供のころ、学校から畑に直行して麦踏みに励み、足の指先が紫色になったことを思い出す。通りがかりに言葉をかけると、2人ともほおが赤くなった顔で笑みを返してくる。毎日、すっかり暗くなった現場からワゴン車で帰る職人さん一家の後ろ姿を見送っている。

無職 橋之口 望 (73) 東京都新宿区

新聞休刊日(予定)のお知らせ

10月以降の新聞休刊日・折込出来ない日(予定)は下記の通りです。なお都合により変更となる場合もありますのでご注意くださいようお願い申し上げます。

10/11(火) 12/12(月)

11月は休刊日がありません。